

愛知県感染症情報

AICHI Infectious Diseases Weekly Report

2012年2週 (1月2週 1/9 ~ 1/15)

2011年12月報

愛知県感染症情報センター (愛知県衛生研究所内)

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>

E-mail : eiseiken@pref.aichi.lg.jp

連絡先 : 052-910-5619 (企画情報部)

今週の内容

トピックス

インフルエンザ、集団かぜの発生について、
 感染性胃腸炎、後天性免疫不全症候群
 病原体検出情報
 定点医療機関コメント
 インフルエンザ、マイコプラズマ、感染性胃腸炎、
 RSウイルス感染症 等

全数把握感染症発生状況 ()内は件数。

結核(19)、腸管出血性大腸菌感染症(1)、破傷風(1)
 2011年12月報

定点把握感染症報告数 (保健所別、年齢別)

「グラフ総覧」は <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf>

トピックス

インフルエンザ(図1)【2011年12月21日警報発令】

2週目の定点当たり報告数は22.6、1週目3,162人、2週目4,412人です。2011/2012シーズンに、集団かぜ及び病原体定点から寄せられた検体からA香港型(AH3)ウイルスが検出されました。

【参考ページ】

インフルエンザ警報を発令します!(ネットあいち)

<http://www.pref.aichi.jp/0000047521.html>

2011/12シーズンインフルエンザウイルス分離・検出状況

http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/infbunri11_12.html

保健所別・定点医療機関当たりのインフルエンザ報告数マップ

http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/influ_map_new.html

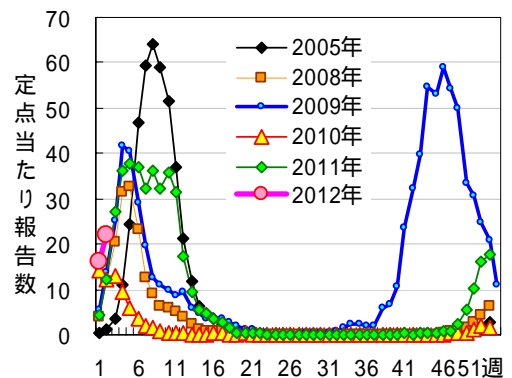


図1 インフルエンザ

集団かぜの発生について

(健康対策課新型インフルエンザ対策室発表)

	発表日	管轄保健所	ネットあいち URL
第23報	1月13日	春日井	http://www.pref.aichi.jp/0000047915.html
第24報	1月16日	一宮、瀬戸、半田、春日井、豊川、津島、西尾、江南、衣浦東部	http://www.pref.aichi.jp/0000047943.html
第25報	1月17日	一宮、瀬戸、半田、春日井、豊川、西尾、江南、知多、師勝、衣浦東部	http://www.pref.aichi.jp/0000047961.html

感染性胃腸炎(図2)

2週目の定点当たり報告数は10.3、1週目1,365人、2週目1,869人です。

【参考ページ】「疾患別ウイルス検出情報」<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/prompt.html>

後天性免疫不全症候群(図3)

2010年には愛知県から138件が報告され、2007年の最高値を更新しました。2011年報告数は125件、うちAIDS患者の占める割合は39.2%でした。

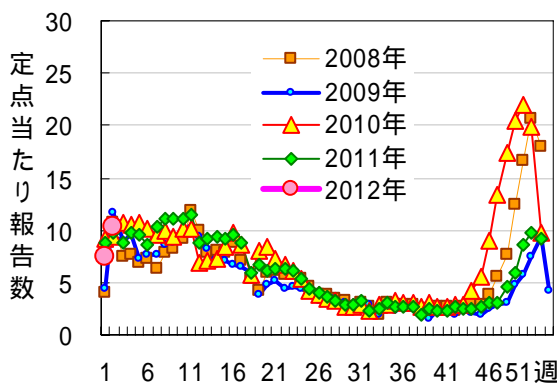


図2 感染性胃腸炎

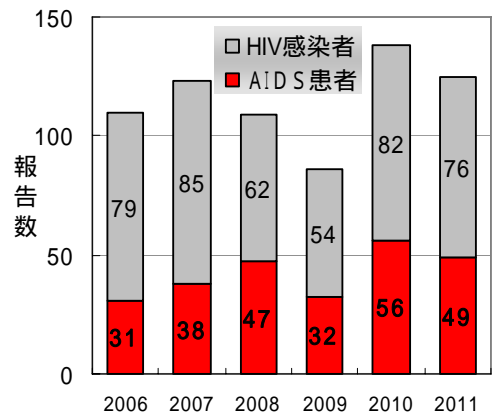


図3 後天性免疫不全症候群の報告数推移 (2012年1月13日現在、診断週集計)

病原体検出情報 - 平成 23 年疾患別ウイルス検出速報 -

1 月 15 日現在

	感受性胃腸炎	手足口病	ヘルペシナ	咽頭腺熱	流行性角膜炎	無菌性髄膜炎	脳炎・脳症	*インフルエンザ	**麻疹
患者数	258	147	42	14	39	58	20	358(70)	12(49)
PV-1	2								
PV-2	3								
CV-A4			2				1		
CV-A6		32	9						
CV-A10		2							
CV-A16		28							
EV-71		3							
CV-B1		1	1			10	1		
CV-B2	2		3			2	1		
CV-B3			1				1		
CV-B4		1							
CV-B5		3				15			
E-6						1			
E-7			1						
E-11	3					2	1	1	
HPeV-3			2						
FluAH1pdm09								139	
FluAH3								100(21)	
FluB								75	
MeV									1(3)
MuV						1			
RUBV									(1)
Rota A G1	28								
Rota A G2	1								
Rota A G3	33								
NV-G	2								
NV-G	60								
SV	7								
AstV	9								
Ad-1	1		1						
Ad-2	6			2					
Ad-3	4		1	10	5				
Ad-5	1								
Ad-41	3								
Ad-54					2				
B19V									(13)
検査中	56	10	3		4	2	2	(47)	2(6)
陰性	66	67	18	2	28	25	13	43(2)	9(26)

*インフルエンザは 2010/2011 シーズンの検査結果、()内は 2011/2012 シーズンの検査結果。

**麻疹の()内は病原体定点医療機関以外からの患者数(別掲)。

略：ウイルス名(他の略名) Ad：アデノウイルス、AstV：アストロウイルス、B19V：ヒトパルボウイルス B19、CV：コクサッキーウイルス(Cox.) E：エコーウイルス、EV-71：エンテロウイルス 71 型、FluAH1pdm09：インフルエンザ(H1N1)2009 ウイルス、FluAH3：A 香港型インフルエンザウイルス、FluB：B 型インフルエンザウイルス、HPeV：ヒトパレコウイルス、MeV：麻疹ウイルス、MuV：ムンプスウイルス、NV：ノロウイルス、PV：ポリオウイルス、Rota A：A 群ロタウイルス、RUBV：風疹ウイルス、SV：サボウイルス

関連ページ 1)「疾患別ウイルス検出情報」<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/prompt.html>

2)「2010/11 シーズンインフルエンザウイルス分離・検出状況」

http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/infbunri10_11.html

定点医療機関コメント（名古屋市除く）

尾張西部地区

6歳女、9歳男 マイコプラズマ肺炎
感染性胃腸炎が増えてきました。

【一宮市 あさのこどもクリニック】

3歳6か月女 先週ムンプス、今週合併症として無菌性髄膜炎

インフルエンザ20名 全例A型、幼児～成人
全域

先週の40歳男、鹿の生肉を食し感染性胃腸炎
カンピロバクター検出

【一宮市 後藤小児科医院】

マイコプラズマ感染症 2人

【一宮市 ささい小児科】

インフルエンザ A型145名 B型2名

【一宮市 一宮市立市民病院】

インフルエンザ すべてA型

【一宮市 水野医院】

マイコプラズマ肺炎 2歳女

【稲沢市 野村整形外科】

インフルエンザA型 16名

【稲沢市 こどものお医者さんおがわクリニック】

インフルエンザA型 発生しました。

16日AMのみで21名でした。

【犬山市 武内医院】

O18 11歳男

【江南市 河野小児科】

インフルエンザ32名（すべてA型）

感染性胃腸炎も増加しています。

【江南市 みやぐちこどもクリニック】

インフルエンザA型 63例と増えてきました。

RS散発

ムンプス散発

アデノ散発

【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】

インフルエンザ 1/10 5歳、1/11 47歳男、

1/12 27歳女、1/12 13歳女、1/14 2人

【扶桑町 いずみ内科】

10歳女 マイコプラズマ肺炎

感染性胃腸炎、A型インフルエンザ共に急増
しています。

【北名古屋市 田中クリニック】

インフルエンザが増えてまいりました。全て
A型です。

胃腸かぜも多いようです。

【清須市 丹羽医院】

インフルエンザA型 36名

【津島市 医療法人参育会加藤医院】

尾張東部地区

インフルエンザ増加(全てA型)。成人例も多く
みられますが、週の後半から、幼児、学童が
増えてきました。

発熱、嘔吐も多くみられます。

その他溶連菌感染症など。

【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】

インフルエンザA型のみ39名。次第に増加し
そうな印象です。

【豊明市 こども元気クリニック】

インフルエンザ 依然増加中です。

【春日井市 春日井市民病院】

A型インフルエンザ 多数

RSV感染症続発中

【春日井市 朝宮こどもクリニック】

インフルエンザが多いです。例年より流行の
ペースが速いようです。

【春日井市 かがわこどもクリニック】

インフルエンザ増加中。B型1名、他はA型
です。

【小牧市 小牧市民病院】

インフルエンザ急増、家庭内感染が目立ちます。
ロタウイルス感染症は1例、ノロウイルス感
染症は多数見られます。

【小牧市 志水こどもクリニック】

インフルエンザA型 男16人、女10人、B型
男2人。インフルエンザが増えて来ました。

【小牧市 医療法人心正会鈴木小児科】

インフルエンザA 17名

【半田市 医療法人林医院】

インフルエンザA型 26名

インフルエンザB型 1名

【南知多町 医療法人大岩医院】

インフルエンザA型 30名

りんご病が少ないながら昨年から引き続き
何人か出ています。

【大府市 まえはらこどもクリニック】

インフルエンザ 21名(A型のみ)

胃腸炎が目立ちました。

RSウイルス陽性 1名(2歳)

【東海市 もしもしこどもクリニック】

インフルエンザは全てA型です。

【東海市 こいで内科医院】

西三河地区

クリアラインFluA(+)AH1N1pdm(-) 9名
StrepA(+) 8歳女
【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】
インフルエンザA型 11人
マイコプラズマ 3人
【豊田市 すくすくこどもクリニック】
インフルエンザA(+) 14人
【豊田市 厚生連足助病院】
マイコプラズマ肺炎 5歳女 9歳男
インフルエンザ26名全員A型
【岡崎市 花田こどもクリニック】
マイコプラズマ肺炎 11歳男
インフルエンザは全てA型
【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】
インフルエンザA 5歳男2名、8歳女2名、8歳男2名、2歳女、10歳女、7歳女、5歳女、6歳男、9歳男
RSウイルス 4か月女
病原性大腸菌O18(+)VT(-) 10か月女
病原性大腸菌O1(+)VT(-) 7歳女
マイコプラズマ 7歳女
カンピロバクター 9歳男
【岡崎市 にいのみ小児科】
インフルエンザ16名全てA型
【岡崎市 医療法人志貴こどもクリニック】

インフルエンザ17名 全てA型
【岡崎市 粟屋医院】
インフルエンザA型 7名
【岡崎市 医療法人永坂内科医院】
マイコプラズマ 7歳男3名 8歳男 9歳男
13歳女
【岡崎市 医療法人深田小児科】
特記すべきことはありません。
インフルエンザ全てA型です。
【岡崎市 竜美ヶ丘小児科】
インフルエンザは全てA型です。
【碧南市 永井小児クリニック】
1月15日 日曜当直でインフルエンザA 35名
インフルエンザA 計71名
【知立市 宮谷クリニック】
マイコプラズマ気管支炎 1名(6歳)
インフルエンザはA型のみ
【刈谷市 田和小児科医院】
病原性大腸菌O6(VT -) 2歳男
アデノウイルス感染症 5歳男、5歳男
【幸田町 とみた小児科】
インフルエンザ すべてA型
【西尾市 西尾市民病院】
病原性大腸菌O86(+) 1歳男
マイコプラズマ肺炎 9歳女
【西尾市 山岸クリニック】

東三河地区

インフルエンザA型が増えてきました。
A群溶連菌感染症が時々います。
感染性胃腸炎が多いです。
【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】
インフルエンザA型 8名
【豊橋市 おだかの医院】
インフルエンザA型 31名
(H1N12009年型 1名 5歳男、
A型・H1N12009年型同時陽性 1名 5歳男)
【豊橋市 医療法人羽柴クリニック】

インフルエンザB型+ 9歳男 1名
他24名はインフルエンザA型+
【豊川市 豊川市民病院】
病原性大腸菌O1 8歳女
【豊川市 ささき小児科】
感染性胃腸炎が多いが重症者は少ない。
インフルエンザ 保育園児中心に流行の兆しあり。
【田原市 かわせ小児科】

全数把握感染症発生状況（愛知県全体・保健所受理週別）2012年1月18日現在

一～三類感染症

<関連リンク> 届出基準 http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedeki_jun110905.pdf

結核（二類感染症）

報告保健所	2012年2週報告数			2012年累計(1～2週)		
	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者再掲	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者再掲
名古屋市(16保健所合計)	2	1	1	6	2	2
豊田市						
豊橋市						
岡崎市	1	1		3	1	
一宮	5	1	1	6	1	1
瀬戸	2			3		
半田						
春日井						
豊川	2	1	1	3	1	1
津島	1			2		
西尾						
江南	3	1	1	4	1	2
新城						
知多	1			2		1
師勝						
衣浦東部	2	1	1	3	1	2
合計	19	6	5	32	7	9

腸管出血性大腸菌感染症（三類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	発病月日	初診月日	診定月日	備考
1	名古屋市	0歳10か月	男	1/4	1/6	1/11	O103、VT2(+)

四類・五類感染症（全数把握）（推定感染経路、推定感染地域は確定も含む）

破傷風（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	推定感染地域
1	知多	84歳	女	国内

2011年12月報 (2012年1月13日現在、診断週に基づく集計)

12月の一～五類感染症(全数把握対象)発生状況〔()は無症状病原体保有者再掲。〕

2010～2011年に報告のあった 疾病名及び病型 ()内は全数把握対象疾病数		2011年12月			2011年 総計 <愛知県全体>	2010年 総計 <愛知県全体>
		愛知県 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県全体		
一類 (7)	発生報告なし	0	0	0	0	0
二類 (5)	結核	82 (23)	51 (8)	133 (31)	2,076 (555)	2,037 (351)
三類 (5)	コレラ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)
	細菌性赤痢	0 (0)	0 (0)	0 (0)	14 (0)	11 (0)
	腸管出血性大腸菌感染症	1 (0)	0 (0)	1 (0)	121 (33)	237 (56)
	腸チフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)
	パラチフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	1 (0)
四類 (42)	E型肝炎	0	0	0	2	3
	A型肝炎	0	0	0	4	13
	オウム病	0	0	0	0	4
	チクングニア熱	0	0	0	2	-
	つつが虫病	0	0	0	3	2
	デング熱	0	0	0	9	21
	日本紅斑熱	0	0	0	3	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	1
	ボツリヌス症	0	0	0	1	0
	マラリア	0	0	0	6	1
	レジオネラ症	2	2	4	41	43
五類 (14)	アメーバ赤痢	0	1	1	41	53
	ウイルス性肝炎	0	0	0	11	17
	内訳					
	B型	0	0	0	8	16
	C型	0	0	0	0	1
	その他	0	0	0	3	0
	急性脳炎	0	0	0	12	8
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	3	8
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	1	1	14	11
	後天性免疫不全症候群	3	8	11	125	138
	内訳					
	無症候性キャリア	2	6	8	73	73
	AIDS	1	2	3	49	56
	その他	0	0	0	3	9
	ジアルジア症	1	0	1	4	1
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	1
	梅毒	1	0	1	43	53
	内訳					
	無症候	1	0	1	19	23
	早期顕症	0	0	0	20	27
	晚期顕症	0	0	0	4	3
	破傷風	0	0	0	7	3
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	2
	風しん	0	1	1	13	3
	麻しん	0	3	3	33	32
	総計	90	67	157	2,592	2,467

*0111;1件

五類感染症(月報定点把握対象)発生状況

	疾病名	2011年12月			2011年 総計	2010年 総計
		愛知県 <名古屋市除く>	名古屋市	愛知県 全体	愛知県 全体	愛知県 全体
性 感 染 症 定 点	性器クラミジア感染症	69	58	127	1,560	1,680
	性器ヘルペスウイルス感染症	36	15	51	632	609
	尖圭コンジローマ	17	12	29	344	355
	淋菌感染症	21	39	60	714	822
基 幹 定 点	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	87	20	107	1,411	1,239
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	12	0	12	155	238
	薬剤耐性緑膿菌感染症	1	1	2	9	4
	薬剤耐性アシネトバクター感染症*	0	0	0	26	-

*2011年2月からの報告対象疾病

感染症の類型及び定義(感染症法)

類型	定義
一類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症。患者、疑似症患者及び無症状病原体保有者について入院等の措置を講ずることが必要。
二類感染症 (5疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症。患者及び一部の疑似症患者について入院等の措置を講ずることが必要。鳥インフルエンザ(H5N1)が平成20年5月12日の法改正により従前の四類感染症鳥インフルエンザから除かれ、二類感染症に追加された。
三類感染症 (5疾病)	感染力及び罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性は高くないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起こしうる感染症。患者及び無症状病原体保有者について就業制限等の措置を講ずることが必要。
四類感染症 (42疾病)	動物、飲食物等の物件を介して人に感染し、国民の健康に影響を与えるおそれがある感染症(人から人への伝染はない。媒介動物の輸入規制、消毒、物件の廃棄等の物的措置が必要。)
五類感染症 (42疾病)	国が感染症の発生動向の調査を行い、その結果等に基づいて必要な情報を国民一般や医療関係者に情報提供・公開していくことによって、発生・まん延を防止すべき感染症。
新型インフルエンザ等感染症 (2疾病)	インフルエンザのうち当該感染症に対する免疫を獲得していないことから、生命及び健康に重大な影響を与えるおそれのあるもの。新型インフルエンザ(新たに人から人に伝染する能力を獲得したウイルスによるもの)及び再興型インフルエンザ(かつて世界規模で流行したウイルスによるもの)が平成20年5月12日に指定された。
指定感染症	既知の感染症(一～三類及び新型インフルエンザ等感染症を除く)のうち、一～三類感染症と同程度の危険性を有し、それらに準じた措置を実施しなければ、国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあるもの。一年間に限定した指定。
新感染症	人から人に伝染すると認められる疾病であって、既に知られている感染性の疾病とその病状又は治療の結果が明らかに異なるもので、当該疾病にかかった場合の病状の程度が重篤であり、かつ、当該疾病のまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるもの。

愛知県感染症情報

2012年2週 (2012年1月9日 ~ 2012年1月15日)

愛知県衛生研究所

年齢階層 (名古屋市を除く)	インフルエンザ定点	小児科定点											眼科定点		基幹定点				
	インフルエンザ (鳥インフルエンザ及び エンザ等感染症を除く。)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)	インフルエンザによる入院患者
計	3,429	137	21	133	1,341	246	20	50	99	1	1	82	0	6	0	0	27	0	32
~6ヶ月	19	37			15	4			3			1							2
~12ヶ月	42	25	1		101	14		1	45			1							
0歳																			
1歳	147	50	2	2	284	40	6	3	45			4					3		6
2歳	149	14	6	8	167	49	1	1	5			7					2		2
3歳	153	3	2	8	122	38	3	5	1		1	14					4		1
4歳	247	4	3	20	97	35	4	8				14					1		1
5歳	236	3	3	28	76	21		8				11							
6歳	234		1	23	64	18	3	2				5							1
7歳	174		1	15	48	15	1	7				6							
8歳	151			8	38	1		5		1		4							1
9歳	138			5	35	5		3				9							
5歳~9歳																	7		
10歳~14歳	437		2	14	98	5	1	5				1					4		1
15歳~19歳	136				26	1		1											
20歳~		1		2	170		1	1				5							
20歳~29歳	249													1			1		
30歳~39歳	284													1			1		
40歳~49歳	225													1					
50歳~59歳	114													2					
60歳~69歳	105													1			1		3
70歳~																			
70歳~79歳	91																1		8
80歳以上	98																2		6